



おいしい みほ  
【奨励賞】 大石 美穂

天国にいるおじいちゃんへ

おじいちゃんが天国に逝ってしまってから、もうすぐ1年が経ちます。私はおじいちゃんのことを思い出す度、切ない気持ちになります。おじいちゃんに最後会った時、私は就職活動中でした。就活は無事終わりましたが、あの時は悩んでいて、あまり笑えませんでした。せめて、最後は心からの笑顔でおじいちゃんと会いたかった。それが唯一の心残りです。

おじいちゃんが亡くなってから、おばあちゃんとおじいちゃんが出会った時の話を、思い出すことが多くなりました。昔、おばあちゃんが幼い妹を連れてバスに乗っていた時、たまたま近くにいたおじいちゃんが席を譲ってくれたこと。優しい人だな、とおばあちゃんが覚えていて、それから程なくしてお見合いの席で偶然おじいちゃんと再会したこと。私は、若かった2人を想像すると、いつも胸が締めつけられます。私は若い頃の2人の顔も声も知りません。でも、なぜか分かるような気がします。それは、私は想像の中で、若いおばあちゃんの気持ちと1つになって、おじいちゃんに恋をしたからです。2人が恋に落ちた瞬間を、自分が経験したかのように思い出すことができるのです。だからおじいちゃんを思う度、胸がキュツとなるんだと思います。いつも、おばあちゃんの名前を呼び続けていたおじいちゃん。おばあちゃんのことを心の底から大好きなおじいちゃんが、私は今もずっとずっと、大好きです。

おじいちゃんの孫 みほより

(埼玉県/21歳/大学生)